

はじめに

中部電力グループは、「くらしに欠かせないエネルギーをお届けし、社会の発展に貢献します。」という企業理念に基づき、**良質なエネルギーを安全・安価で安定的にお届けすることを通じて、お客さま・社会の発展を支えてまいりました。**

近年、DXの進展や新型コロナウイルスの感染拡大などにより、**社会構造・生活様式は大きく変化しております。**とりわけ、**2050年カーボンニュートラル実現を目指し、エネルギー基本計画が改定されるなど、エネルギー事業を取り巻く環境は大きな転換点を迎えて**おります。私たちは、こうした事業環境の激変を新たなビジネスチャンスと捉え、2050年の社会像を見据えて果敢にチャレンジするため、昨年11月に「**中部電力グループ経営ビジョン2.0**」を策定いたしました。

足元では、ウクライナ情勢に係る地政学リスクの顕在化や、東日本エリアにおける「電力需給ひっ迫警報」の発令など、**安定的なエネルギー供給への懸念が生じております。**このような状況においても、我々は、**グループ一体となって安定供給を継続しております。**

一方、収支面では、燃料価格が高騰し、卸電力市場価格に影響を及ぼしたことなどにより、ミライズにおける電源調達コストや、パワーグリッドにおける電力需給調整コストが増加した結果、2019年に設定した**中期経営目標である連結経常利益1,700億円に対し、大幅な未達**となりました。

至近の燃料価格水準が継続する中においても、電源調達におけるポートフォリオの最適化をはじめとした適切な対応策を講じることにより、まずは**早期に従前の利益水準まで回復**を図ったうえで、経営ビジョン2.0までの中間地点として**2025年度をターゲットとした新たな中期経営目標を定める**ことにいたしました。具体的には、**2025年度に連結経常利益1,800億円以上を目指す**とともに、戦略的投資の実行にあたり、資本効率性を一層重視し、**ROIC3.0%以上**を目指してまいります。

経営ビジョン2.0の実現に向け、**お客さまや社会とともに「脱炭素化」に挑戦**するとともに、まちづくりや、資源循環事業への参画等により、「**新しいコミュニティの形**」の提供を加速し、「**安心・安全で強靱な暮らしやすい社会**」の実現に貢献してまいります。

今後とも、**お客さまや社会からの信頼が事業運営の基盤**であることを肝に銘じて、**コンプライアンスを徹底し、従業員一人ひとりの活動の総和でCSRを完遂**することで、**お客さま・社会のみならず、持続的な成長を実現**してまいります。



2022年 4月
代表取締役社長
社長執行役員 **林 欣吾**